

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立第二小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成29年4月18日(火)

3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童
実施児童数(123人)

4. 調査の内容

- (1) 学力に関する調査
 - ア 教科は、国語及び算数。
 - イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容(A問題)と、それらを活用する力などに関する内容(B問題)とする。
 - ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。
- (2) 学習状況に関する調査
調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査(以下「児童アンケート調査」という。)を実施する。
- (3) 学校の取組みに関する調査
調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査(以下「学校アンケート調査」という。)を実施する。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(国語)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況である。

平均正答率(本校 75.0/泉佐野市 71.0/大阪府 72.0/全国 74.8)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況である。

平均正答率(本校 56.0/泉佐野市 53.0/大阪府 54.0/全国 57.5)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

国語A	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】 ○手紙の構成を理解し、後付けを書くことに課題がある。 2二 手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する。(44.3/41.5)</p> <p>【読むこと、 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○俳句の情景を捉えることについては、概ねできており、国に比べて正答率も高い。 4一 俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する。(87.7/79.4)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることについては、概ねできている。</p>	<p>5ア ことわざの使い方の例として適切なものを選択する。(三度目の正直)(90.2/90.0) 5イ (もちほもち屋)(82.0/83.6)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読み書きすることについては概ねできているが、文字によって正答率に大きな差があり、同音異義語に弱い傾向がある。正答率については国に比べ低い。</p> <p>7(1)漢字を書く(参加たいしょう)(50.8/42.0) (2) (4年生のきぼうしゃ)(82.8/80.0) (3)漢字を読む(申し込み期限)(89.3/94.5) (4) (事務室前)(82.0/88.8) (5)漢字を書く(箱がおいてあります)(70.5/76.8) (6)漢字を読む(指示)(90.2/94.5)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話すことについては、国に比べて正答率が低い。 1一 スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する。(72.1/77.2)</p> <p>【書くこと】 ○目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことについて、課題がある。 2三 「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の〔イ〕に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く。(33.6/33.0)</p>	<p>○自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることについて、課題がある。 3二 「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する。(26.2/28.0)</p> <p>○物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることについて、課題がある。 3三 「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く。(32.0/43.7)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。	43.9	32.9	○	11
学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。	33.3	23.4	◇	9.9
国語の勉強は大切だと思いますか。	58.5	65.7	◇	7.2
国語の授業の内容はよく分かりますか。	29.3	38.9	◇	9.6
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	42.3	55.7	○	13.4
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	18.7	26.1	◇	7.4
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。	13.0	21.2	◇	8.2
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。	22.8	33.1	○	10.3

○文章を読み設問に答える際に、答えを探すことに重点が置かれ、文章全体を読み取ることが弱い傾向にある。正しく解答する技を身につけるだけでなく、文章を最後まで丁寧に読み、内容を正しく読み取る力をつける必要がある。

○目的に応じて「読」んだり、「書」いたり、「話」したりすることが弱い傾向にある。パターンやマニュアルに頼らず、自分で考え、判断する力を育てる必要がある。

○漢字については同音異義語のある漢字の正答率が低かった。書き取りだけでなく、実際の文章表現の際に自分で使える力をつけていく必要がある。

○学校生活の中でも、意図的に自分の考えを相手に伝える場面を設定し、自分の考えを言葉にすることに慣れ、伝え方を工夫しようとする意識を育てていく必要がある。

○普段の生活で、「読む」「書く」「聞く」「話す」活動が生かされている場面を想起させ、その必要性を実感させていきたい。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(算数)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層がやや多い。
平均正答率(本校 81/泉佐野市 76/大阪府 78/全国 78.6)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて下位層がやや少なく、上位層がやや多い。

平均正答率(本校 48/泉佐野市 42/大阪府 45/全国 45.9)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○基本的な計算は、概ね理解できている。</p> <p>1 (1) 具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している。 (99.2/96.9)</p> <p>2 (1) 整数の乗法を計算することができる。 (80.3/85.2)</p> <p>2 (2) 小数と整数の加法の計算をすることができる。 (91.0/79.7)</p> <p>○最小公倍数について概ね理解できている。</p> <p>3 二つの数の最小公倍数を求めることができる。 (93.4/86.2)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○高さが等しい平行四辺形と三角形における、底辺と面積の関係について概ね理解できる。</p> <p>5 示された平行四辺形の、半分の面積である三角形を正しく選ぶ。 (74.6/67.0)</p>	<p>【図形】</p> <p>○正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることが概ね理解できる。</p> <p>6 円を使って正五角形をかくとき、円の中心の周りの角を何度ずつに分割すればよいかを書く。 (80.3/75.5)</p> <p>○立方体の面と面の位置関係を概ね理解できる。</p> <p>7 立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ。 (91.8/86.7)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○未知数量を示す□を用いて、問題場面を除法の式に表すことが概ねできる。</p> <p>8 はじめにもっていたシールの枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ。(83.6/83.6)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○示された条件をもとに式を組み立てたり図に表したりすることは概ねできている。</p> <p>1(1)カードの差が4の場合の、2けたの引き算の式と答えを書く。(79.7/76.0)</p> <p>1(2)示された考えを基に、54～45の場合で残る部分を図に表す。(84.6/81.8)</p> <p>○問題に示された二つの数量関係を一般化してとらえ、その決まりを記述する力に課題がある。</p> <p>1(3)2けたの引き算の答えを求めることができる決まりを書く。(33.3/38.6)</p> <p>○直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題解決に適用する力は、課題はあるものの全国平均を大きく上回っている</p> <p>2(2)13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かをかく。(35.0/27.4)</p> <p>【量と測定・数量関係】</p> <p>○飛び離れた数値を除いた場合の平均をもとめる式を判断することは全国平均に比べてできている。</p> <p>3(1)飛び離れた数値を除いた場合の平均をもとめる式を選ぶ。(73.2/67.9)</p>	<p>【量と測定・数量関係】</p> <p>○仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均のもとめ方を記述する力は全国平均を大きく上回っている。</p> <p>3(2)仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める。(35.0/26.1)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことに課題がある。</p> <p>4(2)学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ。(25.2/29.3)</p> <p>【図形】</p> <p>○身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述する力に課題がある。</p> <p>5(2)与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係をとらえ「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く。(16.3/13.2)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。	22.0	35.6	○	13.6
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う。	54.5	66.7	○	12.2
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。	41.5	49.2	◇	7.7
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている。	43.9	57.0	○	13.1
言葉や数、式を使って、求め方などを書く問題についてどのように回答したか。	64.2	69.9	◇	5.7

○基本的な問題はよくできているが、出題形式が違ったり、問題文が長くなったりすると、正答率が下がる。応用問題に慣れていく必要がある。

○記述式の問題の正答率が低い傾向があるので、授業の中で選んだ答えの理由を文章で書いたり、自分の考えたことを文章で書いたりして、考えを書く力をつけていく必要がある。

○算数の授業で学習したことを生かそうという意識が低いため、実生活に結び付けられるような授業展開を取り入れていく必要がある。

○受動的な学習態度が多く見られるため、児童が主体となって、能動的に学習を行えるような授業の工夫が必要である。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(児童質問紙より)

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>○寝起きが一定ではない。何時に起きようと計画はしていない。</p> <p>○自尊感情は控えめながら、全国より高い数値である。どちらかといえば、の割合が高い。</p> <p>○自分の考えを表現することが課題である。</p> <p>○テレビゲームを長時間している児童が多い。</p> <p>○全国よりも所持率が高く、長時間スマートフォンを利用している児童もいる。</p> <p>○放課後の過ごし方については、塾に通う児童が多くいる一方、家で家族とゆったり過ごす児童も多くいる。</p> <p>○土曜日の午後は月1回授業があるからか、塾等で学習する児童が増えた。</p> <p>○自分の将来の姿について、家族と話す機会が十分ではない。</p>	<p>○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。 ・している<86.2/91.2></p> <p>○自分には良いところがあると思いますか。 ・思う<85.3/77.9></p> <p>○友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか。 ・できている<80.5/85.5></p> <p>○1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。 ・1時間より少ない<20.3/30.4></p> <p>○1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンで通話、メール、インターネットをしますか。 ・2時間以上<10.6/5.0> ・30分以上<5.7/12.2> ・30分より少ない<35.8/30.5> ・持っていない<29.3/36.7></p> <p>○放課後に何をして過ごすことが多いですか。 ・学習塾などで勉強している<53.7/29.6> ・家でテレビやDVD、ゲーム、インターネット<83.7/72.6> ・家族と過ごす<74.8/61.7></p> <p>○土曜日の午後は何をして過ごすことが多いですか。 ・学習塾などで勉強<20.3/9.9></p> <p>○家の人(兄弟姉妹を除く)と将来のことについて話すことがありますか。 ・話す<41.4/50.4></p>

	<p>○地域や社会で起こっている出来事に関心が低く、参加率も低い。</p> <p>○地域の大人との関わりが少ない。</p> <p>○海外への興味関心が低く、将来海外に出て活躍するといったイメージがいただけていない。</p>	<p>○今住んでいる地域の行事に参加していますか。 ・あてはまる<44.8/62.6></p> <p>○地域や社会をよくするためになにをすべきかを考えることがありますか。 ・あてはまる<30.9/42.3></p> <p>○地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、いっしょに遊んだりすることがありますか。 ・ある<34.1/41.2></p> <p>○将来、外国へ留学したり国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか。 ・思う<23.6/33.6></p>
<p>【家庭学習の様子】</p>	<p>○家庭によって勉強時間の差が大きい。</p> <p>○学習塾に通う児童が多く、学校よりも難しい内容や進んだ内容をしている。</p> <p>○自分で計画して学習を進める力や経験が乏しい。昨年度と同様である。</p> <p>○授業への見通しを持って取り組む意識が薄い。</p> <p>○宿題が授業の復習であるという感覚が乏しい。昨年度とも同様である。</p>	<p>○学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)。 ・3時間以上<19.5/11.9> ・1～2時間<26.0/37.3> ・30分～1時間<29.3/24.3></p> <p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む) ・4時間以上<12.2/7.1></p> <p>○学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか。 ・通っていない<30.1/53.7> ・学校より進んだ内容や難しい内容を勉強している<51.2/23.5></p> <p>○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。 ・している<59.4/64.5></p> <p>○家で、学校の授業の予習をしていますか。 ・している<20.4/41.0></p> <p>○家で、学校の授業の復習をしていますか。 ・している<31.7/53.8></p>

<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>○学校で楽しくすごしている。</p> <p>○きまりに対する意識が低い。</p> <p>○話し合い活動について、合意形成をできる段階には至っていない。</p> <p>○先生が認めてくれていると感じている児童が多い。</p> <p>○自分たちで学習内容を振り返る活動を行っていないと感じる児童が多い。</p> <p>○自分の思いを書いたり、説明したりして表現することが苦手な児童が多い。</p>	<p>○学校に行くのは楽しいと思いますか。 ・ と思う<90.2/86.3></p> <p>○学校の決まりを守っていますか。 ・ あてはまる<37.4/46.4></p> <p>○学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか。 ・ と思う<35.0/50.3></p> <p>○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 ・ あてはまる<93.5/86.0></p> <p>○5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。 ・ 当てはまる<67.5/76.2></p> <p>○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。 ・ と思う<66.7/59.5></p> <p>○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。 ・ と思う<62.6/53.7></p>
--------------------	---	---

本校の取組み

◎これまでの取組み

(1)「二小 伸びる子 10の力」

「生活をつくる力」・・・早寝・早起き・朝ごはん。身の回りの整理・整頓をしよう。時間を守ろう(5分前行動をしよう)

「学ぶ力」・・・前の日に自分で学習の用意をしよう。目と心と身体を向けて話を聞こう。わからないことは、聞いたり調べたりしよう。読書をしよう。

「社会力(なかよくする力)」・・・みんなにあいさつをしよう。思いやりのある言い方をしよう。友だちの良いところを見つけよう。

を目標に設定し、学校全体で取り組んでいる。

家庭の協力もあり、100%に迫る児童がほぼ毎朝の朝ご飯を食べて登校してくる。また、児童朝礼では、全児童が予鈴前に集合し、私語のない状態で児童朝礼を始められるようになってきた。普通の授業でも、チャイムを守ることで学習時間を確保できるように取組みを進めている。

(2)研究主題と研究体制

本校では、「言葉を大切にし、自ら考え、自ら表現し、伝え合う子どもを育てる」を研究主題に、全ての教科の中で「話し合い活動」を取り入れている。授業での話し合い活動を通して、各教科の目標達成に迫り、その中で児童が豊かな人間関係を築いていくことを目指して研究を進めている。児童の成長や実態に合わせ、自分の思いや考えを自分の言葉で伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりする活動を多く取り入れている。さまざまな活動を通し、互いの立場や考えを尊重したり、場に応じて適切に表現したりして、言語能力だけでなく豊かな人間関係を育むことを目指して取り組んでいる。

(3)少人数・習熟度別指導

算数科の少人数指導や習熟度別指導は、「①児童一人ひとりの特性を理解し、個に応じた指導を行い、基礎・基本の定着をはかる。②つまずきの克服や学習意欲の向上につながるように、授業方法や授業体制を工夫し、自ら学び自ら考える力を育てる。」ことを目標にしている。

今年度、本校では第3～6学年の算数科において、単元ごとに習熟度別少人数分割授業と単純分割少人数授業を選択して行っている。学力を高めるために話し合い活動を多く設定したり、教材を工夫したりして、より細やかな指導を行っている。また、単元の学習計画、学習進度、児童個々の評価等については、学年・学級担任と少人数担当教員とで、綿密な打ち合わせを行いながら指導を進めている。

(4)校内学カテスト

7月と12月に本校で作成した「校内学カテスト」を第3学年から第6学年の児童に実施している。

「校内学カテスト」の実施後は、分析を行い、本校の取組みの成果と課題の資料としている。課題については研究推進部会で取り上げ、児童の実態にあった指導体制・指導内容等について意見交換を行い、より効果的な学習指導が進められるよう取り組んでいる。

◎これからの取組み

国語科においては、読書の習慣について課題があること、長文の問題の正答率が低いことから、引き続き読書指導を行っていく。また、辞典の活用を随所に取り入れたり、語彙力を高めたりするとともに、多様な表現の仕方に興味を持たせる指導を行う。

毎年、記述式の問題の正答率が全国より低い傾向があるので、授業の中で選んだ答えの理由を文章で書いたり、自分の考えたことを文章で書いたりして、考えを書く力をつけていく必要がある。例えば、話し合いや討論の場で発言内容の中から中心となる考えを聞き取り、理由や根拠などを短い言葉でメモなどに書き留めるような活動や、たくさんの情報の中から必要な情報を取り出し、その情報を分類したり関係付けたりする中で分かったことや自分が考えたことを書く活動などを増やしていきたい。

「話すこと・聞くこと」では、授業の中でグループでの話し合い活動を進めていくとき、司会の役割

を理解した上で、立場や意図を捉えながら話し合いの観点を整理する指導を充実させていきたい。

算数科においては、7月に実施した「校内学力テスト」の分析結果から、本校の課題を職員が共通理解した上で日々の指導にいかしている。12月に実施する同テストにおいて、その成果が出るよう、引き続き指導を行っていく。

基礎的な知識や技能は比較的定着しており、日々の学習の成果が出ていると考えられる。しかし、「選択式問題」とその根拠を説明する力や自分の考えを表現する力等に課題がある。これらの課題解決に向けて、自分の考えを書く活動とともに、ペア学習やグループ学習を多く取り入れ、児童が自分の考えを表現する機会をより多く設定する必要がある。

また、個々の児童の成果や課題を確実に把握するために、算数アンケートを引き続き行っていく。課題を克服するため、より言語活動を充実させ、個に応じた指導のあり方の研究を進めていく。教材研究、単元の学習計画、学習進度、児童個々の評価については、学校全体で共通理解し、研究を進めていく。